

堂々の全11競技 120名出場



星槎スポーツ新聞 ★ 第1号

2016年7月22日(金)

星槎グループ セイスポ編集部発行
神奈川県 中郡大磯町国府本郷 1805-2

インターハイ

サッカー女子

湘南学習センター 浅越千裕・百武初樹
山室佳代・塩野海風・新山ひかる(3年)
夏目萌由・吉田実来・百瀬碧依
杉山華乃・江原奏音・宮澤ひなた
鹿島菜・喜多村未来(2年)
渋谷巴菜・望月今日・安保舞美
加藤もも(1年)
マネージャー 鏡琉衣(1年)

定通全国大会

剣道 男子団体

横浜鴨居学習センター
豊田昇龍・菅原綾雷(2年)
柏高等技術学園
湯浅泰輝・成平和優(3年)
南條凌平(1年)

剣道 男子個人

柏高等技術学園
湯浅泰輝(3年)・南條凌平(1年)

剣道 女子個人

福井学習センター 阿南文望(3年)

バスケット 女子

福井学習センター 小倉真由香・
松村紗彩・黒田真由(3年)
巻寄ももか・畑楓人・米田美央(2年)
佐々木杏美(1年)

卓球 男子団体

沖縄学習センター
具志堅匠・名嘉真朝紹
伊禮光志朗・山内泰人・高嶺航(3年)
前田俊平(2年)
宮里海地(1年)

卓球 男子個人

沖縄学習センター
名嘉真朝紹・伊禮光志朗(3年)
前田俊平(2年)

サッカー男子

高知高等学院

柔道 男子団体

郡山学習センター
溝井克(3年)・大河原大輔(2年)

柔道 男子個人90kg以下級

富山学習センター 浜川達也(2年)

柔道 男子個人75kg以下級

郡山学習センター 溝井克(3年)
福井学習センター 高木義人(3年)

柔道 男子個人65kg以下級

郡山学習センター 吉田大喜(2年)

柔道 女子個人48kg以下

福井学習センター 山下真葉(1年)

自転車競技 1kmトライアル

浜松学習センター 齋藤鳳(2年)

自転車競技 4km速度競争

浜松学習センター 齋藤鳳(2年)

ソフトテニス 女子団体

広島学習センター
栗田菜央(2年)・山中山花(1年)

ソフトテニス 女子個人

広島学習センター
栗田菜央(2年)・山中山花(1年)

陸上競技 男子100m

帯広キャンパス 高橋拓雅(1年)
広島学習センター 落合哲己(3年)

陸上競技 男子200m

帯広キャンパス
秋葉龍伸・高橋拓雅(1年)
福井学習センター 高木義人(3年)

陸上競技 男子400m

帯広キャンパス
瀬尾晃司(2年)・栗本寛也(1年)
広島学習センター 前田晃汰(3年)

陸上競技 男子800m

帯広キャンパス 栗本寛也(1年)
福井学習センター 前田拓巳(3年)
広島学習センター 寺口晃太郎(2年)

陸上競技 男子1500m

帯広キャンパス 本間峻(1年)
福井学習センター 前田拓巳(3年)
広島学習センター 村井孝徳(3年)

陸上競技 男子5000m

帯広キャンパス 本間峻(1年)
郡山学習センター 笹嶋博文(3年)
立川学習センター 田中巧実(3年)
富山学習センター 岡田晃典(2年)
広島学習センター

友谷匡希・村井孝徳(3年)

陸上競技 男子400mH

帯広キャンパス 瀬尾晃司(2年)
広島学習センター 前田晃汰(3年)

全国大会出場競技・出場者

競技名 出場人数 大会日程等

●インターハイ

女子サッカー 17名 7月28日～8月2日/広島県内

●定通全国大会

剣道 6名 8月1日/日本武道館
バスケット(女子) 7名 8月1日～4日/東京体育館
卓球(男子) 7名 8月2日～8月4日/駒沢体育館
男子サッカー 12名 8月5日～9日/清水ナショナルトレセン 他
柔道 6名 8月7日/講道館
自転車競技(男子) 1名 8月7日-8日/日本競輪学校
※静岡県伊豆市
ソフトテニス 2名 8月7日～9日/有明テニスの森
陸上競技 25名 8月11日～14日/駒沢陸上 競技場 他
軟式野球 32名 8月14日～17日/神宮球 場 他
バドミントン 7名 8月17日～20日/小田 原アリーナ

●総文

ボランティア部 2名 8月1～3日/
日本赤十字広島看護大学

陸上競技 男子3000mSC

広島学習センター 友谷匡希(3年)

陸上競技 男子4×100mR

帯広キャンパス 酒井将太(3年)
瀬尾晃司(2年)・秋葉龍伸・
栗本寛也・高橋拓雅(1年)

陸上競技 男子4×400mR

帯広キャンパス 巖岩孝太郎・
瀬尾晃司(2年)・秋葉龍伸・
栗本寛也・高橋拓雅・本間峻(1年)

陸上競技 男子砲丸投げ

福井学習センター 橋爪佑弥(3年)

陸上競技 男子走り幅跳び

仙台学習センター 安部聖(1年)
広島学習センター 落合哲己(3年)

陸上競技 男子走り高跳び

八王子学習センター
半井裕大(2年)・高橋楓太(1年)

陸上競技 女子100m

帯広キャンパス 遠藤真南(2年)
福井学習センター

福井紗貴(3年)・久保摩里愛(2年)

陸上競技 女子200m

福井学習センター

福井紗貴(3年)・久保摩里愛(2年)

陸上競技 女子砲丸

福井学習センター 小倉真由香(3年)

軟式野球

立川・八王子学習センター合同

立川学習センター 星野達郎・
鳥井修斗・宇佐美文博・奥平隆大(3年)
片居木俊介・大澤優介(2年)
北村真也(1年)

八王子学習センター 種藤颯大・

小西翔太・小林宥渡・浅見将生(3年)
秦啓一郎・尾形太陽(2年)
田野倉竜・佐藤梨乃(1年)
大津真・長崎敬太(専攻科1年)

福岡中央学習センター

結城涼司・宮崎克弥・斉藤光希・
竹島希沙良・谷基晴・養川連(3年)
結城淳司・稲葉真秀・岡部智也・
木下聖典・武井翔太郎(2年)
安部悠河・塚本幸大・内山弘晴・
窪田悟(1年)

バドミントン 男子団体

富山学習センター 堀川顕徳(2年)
F.S. 播磨西高等学院 梅元大河(3年)

バドミントン 男子個人

札幌学習センター 戸井文弥(3年)
浜松学習センター 花井海渡(2年)
福井学習センター 正木貴也(1年)
F.S. 播磨西高等学院 梅元大河(3年)

バドミントン 女子団体

富山学習センター 澤崎あさひ(3年)
高知高等学院

バドミントン 女子個人

富山学習センター 澤崎あさひ(3年)
高知高等学院

総文

ボランティア部

富山学習センター
岡崎哲也(3年)・境龍星(2年)

※学習センター、キャンパスは星槎国際高等学校

全国の
決戦場へ

我々
友戦
よわ
わん



福岡中央は野球で出場



沖縄は卓球で出場



札幌はバドミントンで出場



福井は陸上競技で出場

ボランティア部が文化部
のインターハイに参加
富山学習センターの
ボランティア部が、8
月、広島で行われる総
文(第40回全国高等学
校総合文化祭)に参加
する。顧問の飯田良智
教諭は、総文でいろい
ろなことを学んできて
ほしい。そして学んだ
ことを富山に持ち帰っ
て、これからのボラン
ティア部の活動に活か
したい、と話している。

これまでを超えて
さらなる高みへ

女子サッカー部
インターハイ初出場



喜びを胸に より高く!

星槎国際高校湘南学習
センター女子サッカー部
が創部3年目にして、イン
ターハイへの初出場を決
めた。同サッカー部は、神
奈川県予選(第5回神奈
川県高校総合体育大会)
を1位(19チーム中)、関
東大会(第5回関東高校
女子サッカー大会)でも決
勝で前橋育英高校を1対
0で破り、関東1位(8チ
ーム中)という見事な成
績で本大会出場を決めた。
インターハイ女子サッ
カーは7月28日(木)～8
月2日(火)までの日程で
行われる。7月30日(土)、
第1回戦は開志学園 J S
C(新潟)と対戦する。開
志学園は、昨年のインター
ハイでベスト8、1月の
第24回全日本高等学校女
子サッカー選手権大会に
も出場している強豪校。
女子サッカー部・柄澤俊介
監督は、インターハイは
夏の非常に苛酷な環境下
での大会。相手云々では
なく、自分たちが試合の
最初から最後までしっか
りと走りぬく精神力が試
される、と話す。トーナメ

ントの同じブロックには
先の選手権で惜敗した鎮
西学院、選手権優勝5回
を誇る常盤木学園が控え
ている。女子サッカー部の
戦いから目が離せない。
見どころ
関東大会で優秀選手に
選出された山室佳代さん
(3年)、塩野海風さん(3
年)、宮澤ひなたさん(2
年)、百瀬碧依さん(2年)
は、もちろんのこと、そ
他の選手にも注目。これ
からの女子サッカー部を
背負っていく1、2年生
の成長が見どころ。
VOICE
キャプテンに聞く
山室佳代さん(3年)
本大会では、各地区予選
を勝ち抜いてきた強豪校
との闘いとなります。星
槎・神奈川・関東の代表と
して堂々と闘えるよう課
題を意識し、これからの
練習に全力で取り組んで
いきます。感謝の気持ちを
ピッチ上で体現し、星槎ら
しく最後まで全力でチー
ム一丸となって闘います。

夏の甲子園

神奈川県予選7月10日開幕

第98回全国高等学校野球選手権神奈川大会が7月10日(日)に開幕。神奈川県は188チームが参加する全国でも有数の激戦区。星槎国際高校湘南学習センター硬式野球部

(登録名:星槎国際湘南)は、7月14日(木)の第1試合で県立足柄高校と対戦する。

県予選に向けて野球部は、春先から精力的に練習試合を行うなど、力を

養ってきた。3年生は全員がベンチ入りする。寮生活で培ったチームワークで、3年生を中心にベスト8を目指す。大会直前、就任2年目の土屋恵三郎監督に話をうかがった。

インタビュー

▼今大会、下馬評では、打撃力、投手力ともに優れた横浜高校が優勝候補の最右翼とされています。神奈川予選の印象は？

もちろん横浜高校は力がある。但し、強いチームが勝つというよりも、勝ったチームが強いというのが神奈川の高校野球。多くの高校が優勝を狙っている。そういった点では横浜もつかうかできない。

▼今大会の目標は？

生徒とともにベスト8という目標を立てている。まずは一戦必勝だ。

▼今大会が監督にとって、星槎では二度目の夏

の予選となりますが、昨年度と違っての点はありますか？

まだまだ力は十分とは言えないが、2、3年生は落ち着きが見える。昨年の試合経験が大きい。それを活かして挑戦していきたい。

▼期待する選手、あるいは注目の選手は？

攻撃面では、まずリードオファマンの川口慶太くん(3年)。1番打者がどれだけ出塁できるかがカギ。次に4番の松下壮悟くん(1年)。4番の前にどれだけ走者をためられるか。守備では、エースの本田仁海くん(2年)。石橋颯太くん(1年)。投

手が試合をしっかりと作って、流れを呼び込むというのが星槎の野球。

▼野球部全体の調子はいかがでしょう？

生徒の気持ちも上がってきた。調子は良い状態だと思ふ。今年は、3年生全員をベンチ入りメンバーに入れた。3年生の目に見えない力、結集力がチームの大きな力になる。

▼日々の練習で大切にしていることはありますか？

練習はとにかく基本を繰り返した。毎日毎日の積み重ねで、一つずつ力を上げていくようにした。

▼1回戦は、県立足柄高校です。ゲームプランはありますか？

もちろん、対戦相手のデータはつかんでいる。それよりも、どの高校と対戦しようが、自分たちの庭をしっかりと整備しておく、自分たちの野球をすることが大切。走攻守をしっかりとし、当たり前のことができるようになるれば、試合の中で流れが何回か変わるはずだ。

▼最後に、星槎のみんなへ向けて、一言お願いします。

星槎の代表として一生懸命戦ってくるので、応援よろしく願います。グラウンドとスタンドが一体となって星槎らしい最後まであきらめない野球をしたい。熱い中、応援に来てくださる方に勝利で恩返しをしたい気持ちでいっぱい。

VOICE

キャプテンに聞く
小貴 裕真くん(3年)

チームで掲げた「ベスト8」という目標を達成するために、キャプテンとしてチームを引っ張りたい。

星槎の野球は、守備からリズムを作り、少ないチャンスをものにしようというものです。神奈川の高校野球を熱くできるような一戦必勝で頑張ります。みなさんの応援をよろしくお願いします。



マウンドに集まる内野手 チームワークの見せどころ

流れをしっかりとつかみたい。

▼2回戦の相手は立花学園です。同校とは、練習試合も行っているという聞いています。ゲームプランはありますか？

立花学園は、素晴らしいグラウンドもあり、野球部員も多い私立高校。しかし、勝てない相手ではない。生徒みんなの力を集め、思い切って挑戦したい。いい勝負になると踏んでいる。

▼予選の同じブロックには、第3シードの光明相模原、昨秋、今春の大会ベスト4の藤沢翔陵、昨秋、準優勝の桐光学園、公立の大師、厚木北が名を連ねています。2回戦以降の見通しは？

先は見えていない。一試合ずつ目の前の相手に全員が一丸となって戦ってきたい。そうすると高校生は波に乗って目に見えない力がつく。

▼最後に、星槎のみんなへ向けて、一言お願いします。

星槎の代表として一生懸命戦ってくるので、応援よろしく願います。グラウンドとスタンドが一体となって星槎らしい最後まであきらめない野球をしたい。熱い中、応援に来てくださる方に勝利で恩返しをしたい気持ちでいっぱい。

これまでも野球部の応援は星槎学園湘南校の有志が行ってきたが、今年度より、同校に発着した吹奏楽部を中心に行う。

関東の他の校舎の生徒も参加して練習中。顧問の佐藤瑞穂教諭は、練習時間は決して多くはないが、それぞれが音楽、野球への熱い想いを持ち寄り、星槎の仲間としての意識を深めることができている、と話す。レパトリは10曲ほど。また、7月7日(木)には湘南学習センター生徒と吹奏楽部の合同応援練習も予定されている。

「野球部を熱い気持ちで応援します。野球部のみなさん頑張ってください！私たちが頑張ります！」と部長の田中雄大くん(3年)が語る通り、吹奏楽部の熱い夏ももうすぐ開幕する。

こちらも猛練習中！

女子バレー部が、6月、インターハイ県予選(平成28年度全国高校総体体育大会バレーボール競技神奈川県予選)に臨んだ。結果は準々決勝で厚木北高校に敗れ、ベスト8(180チーム中)に終わった。このチームは結成時から、新人戦(平成27年度神奈川県高等学校バレーボール新人大会県大会)、平成28年度関東高等学校バレーボール大会神奈川県予選と3大会連続のベスト8。そのため今大会の目標をベスト8の維持、そしてベスト4進出と掲げた。羽田野義博監督は、今のバレー部に足りないのは、コマー



勝利！歓喜の瞬間

3大会連続ベスト8
女子バレー部

王者に惜敗
男子サッカー部

2部昇格が目標
男子クラブチーム

男子サッカー部は、6月、インターハイ県予選(平成28年度全国高等学校総合体育大会サッカー大会神奈川県予選)において、創部初のベスト16(203チーム中)入りを果たした。ベスト8をかけた、昨年度インターハイ、選手権(全国高校サッカー選手権)神奈川県代表の桐光学園と対戦し、1対0で惜しくも敗れた。現在、神奈川県U18リーグでも好調を維持しており、冬の選手権を目指しチームメイト同士で切磋琢磨の日々を送っている。

男子クラブチームは、クラブユース選手権(2016年度日本クラブユース選手権U18関東予選)に出場し、1次予選で敗退した。クラブチームは公式戦が多く、現在はJユースカップ(第24回Jリーグユース選手権大会)予選と、神奈川県U18リーグを同時進行で戦っている。今年度は、Jユースカップ予選で2次トーナメントに進出、神奈川県リーグで2部昇格を目標とし、日々厳しいトレーニングに励んでいる。

VOICE

みんなの声
女子バレー部キャプテン
高木ラリスアヤさん(3年)

インターハイ予選の5回戦までは、これまで練習してきたことが出てきていたが、準々決勝では、相手のペースから抜け出すことができず、悔しい敗戦になりました。悔しい敗戦になりましたが、「どんなときも、チームを信じて星槎らしいバレーをする！」ことを目標に、これからチャレンジしていきます。

男子サッカー部
安保龍一くん(3年)

選手権までは限られた期間しかありません。ベスト8の壁を越えるには取り組みを変えていく必要があります。そのためにも今年の夏でチームとしても、個人としてもレベルアップしたいです。悔いの残らないように覚悟を決めてやっていきます。

男子クラブチーム
キャプテン
吉岡 虎利くん(3年)

最近、チームの意識が少しずつですが変わってきています。今後はさらに、全員が意識を高くすることとで勝利に近づけると思っています。今年の目標は神奈川県リーグ3部優勝です。

第1面から第4面に関わる星槎国際高校の部活動の全国大会への出場等には、学納金としていただいております生徒会費の他に、全国生徒会費、星槎グループ文化・体育後援費、また全国生徒会費よりその一部が拠出されております。



練習も常に熱い想いで

土屋監督二年目の夏

白球よ輝け！

星槎の代表として一生懸命戦ってくるので、応援よろしく願います。グラウンドとスタンドが一体となって星槎らしい最後まであきらめない野球をしたい。熱い中、応援に来てくださる方に勝利で恩返しをしたい気持ちでいっぱい。

練習でも勝利を願って

陸上部が本格的に活動をスタート。5月には瀬上 湊夢くん(2年)がインターハイ県予選(平成28年度全国高校総体体育大会陸上西地区予選)1500mに出場(記録4分43秒72)。大塚光司くん(2年)は第57回平成国際大学長距離競技会3000m(記録9分34秒22)に参加した。

陸上部活動スタート

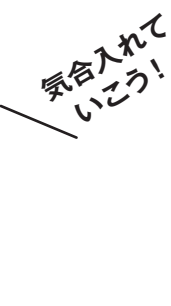
陸上部が本格的に活動をスタート。5月には瀬上 湊夢くん(2年)がインターハイ県予選(平成28年度全国高校総体体育大会陸上西地区予選)1500mに出場(記録4分43秒72)。大塚光司くん(2年)は第57回平成国際大学長距離競技会3000m(記録9分34秒22)に参加した。



陸上部の二人 瀬上くん(左)と大塚くん(右)



次はベスト8をかけた対戦だ！



気合入れていこう！



フットサル メトペマ杯2016

立川
ペア優勝

メトペマ杯2016結果

◆男女混合リーグ(15チーム中)

1位 立川 2位 八王子

3位 湘南校、厚木

◆女子リーグ(3チーム中)

1位 立川 2位 横浜ポート①

各校 MVP

全出場校より1名ずつ選出

◆男女混合リーグ

星槎高校 濱田 優哉(1年)

星槎学園

湘南校 降旗 伸泰(3年)

北斗校 小澤 順平(3年)

横浜ポートサイド校

廣重 倭(2年)

大宮校 江野 拳志郎(1年)

星槎国際高校

広島学習センター

中野 正博(3年)

福井学習センター

今村 勇登(3年)

浜松学習センター

松本 紘輝(3年)

横浜鴨居学習センター

梅津 侑那(1年)

立川学習センター

吉岡 剛(1年)

厚木学習センター

田邊 郁弥(2年)

八王子学習センター

林 泰俊(3年)

浦和高等学園

清水 晴輝(1年)

柏高等技術学園

小川 大介(3年)

横浜デザイン学院

李 政融(1年)

◆女子リーグ

星槎学園

横浜ポートサイド校

斎藤 睦未(1年)

星槎国際高校

立川学習センター

内野 りこ(2年)

6月22日(水)、雨まじりの空の下、メトペマ杯2016が星槎湘南大磯キャンパスで実施された。同大会は、星槎とその提携校の高校生を中心にフットサルを男女混合、女子、それぞれをリーグ戦で競う。今年度は、男女混合リーグに15校舎15チーム、女子リーグには2校舎3チームが出場。星槎の関東の高校部門各校の他、星槎学園北斗校中等部、提携校の浦和高等学園他が参加。横浜デザイン学院、星槎国際高校広島学習センターは初参加。

白熱の決勝戦

男女混合リーグは、予選を4ブロックに分け、4チーム(1ブロックのみ3チーム)で戦い、勝ち点の多い上位2チームが決勝トーナメントに進む。予選決勝トーナメントはそれぞれ15分一本、10分一本、決勝戦のみ前半後半12分での試合となる。



ペア優勝した 立川の選手



八王子 林泰俊くんのシュート

VOICE

みんなの声

初出場

横浜デザイン学院

李 政融くん(1年)

試合を見てくれた皆が僕の名前を大きな声で応援してくれてとても嬉しかったです。試合後には、他の校舎の人からもアドバイスを受けました。

星槎国際 広島

中野 正博くん(3年)

試合や練習を通して色々な人たちと交流できて楽しかったです。広島からの長距離移動でしたが、それでも来る価値がありました。

準優勝 八王子

(3年) 林 泰俊くん

決勝では全力を尽くしましたが、勝つことができませんでした。悔しいです。それでもチームのみんなと準優勝することができ、とても嬉しかったです。

準優勝

横浜ポートサイド①

(1年) 相澤 美樹さん

今回の経験を元に次回は、もっと練習し、レベルアップしてメトペマ杯に臨みたいと思います。笑顔で試合を終えることができ、とても良い経験でした。

男女混合リーグ優勝

立川(1年) 吉岡剛くん

ほとんどの部員がフットサル未経験者でした。5月のゴールデンウィーク明けから練習後に毎回ミーティングを重ねてきました。その甲斐もあり、まとまりを持って最後まで試合をすることができました。

女子リーグ優勝 立川

(2年) 内野 りこさん

普段からメトペマ杯を意識して練習してきました。最後まで全力でプレーしてくれてチームの皆に感謝しています。来年も優勝できるように、フットサルが好きで女子生徒が増えるよう頑張ります！

決勝は、Cブロック予選1位通過の立川学習センターとBブロック予選1位の八王子学習センターとの対決。立川は、予選を2勝1分け、決勝トーナメントも鴨居学習センターと1対0、星槎学園湘南校と1対0と接戦を勝ち上がった。一方の八王子は、予選の福井学習センター戦を1対0と競り合ったものの、その他の試合は4対0、8対0と快勝。決勝トーナメントでは、準決勝の厚木学習センター戦で0対0の引き分けと苦戦した。(大会規定により予選上位のチームが決勝進出)

試合序盤から八王子は、林泰俊くんを中心に前線の林隆斗くんへパスをつなぎ何度も決定機を作る

ものの、吉岡くんをはじめとする立川の固いディフェンスで得点を決めることができなかった。対する立川は、ロングパスを多用し、少ないチャンスをもにしていた。後半になると、八王子は、林泰俊くんもドリブルで何度も立川ゴールに迫り、得点あげたが、追いつくことができず、2対1で立川が勝利した。

女子リーグでは、3チームで予選を行い、上位2チームで決勝戦。試合時間は混合リーグと同じ。決勝は、予選1位の立川と同2位の星槎学園横浜ポートサイド校①の対戦。

立川は、内野さんを中心にパスを前線までつなぎ得点をあげた他、相手ゴールを敵陣の深い位置で

エリトリア
アテネオリンピック10000mで銅メダルを獲得しているエリトリア。星槎は2014年9月、2020年東京オリンピック・パラリンピック参加支援のため同国の

生徒がサポート
今回の大会は星槎国際高校湘南学習センターのサッカー部の生徒が中心となって審判や運営をサポートした。また試合には男子サッカー部の生徒70名以上が、本番の試合さながらの声援や応援歌をうたい試合を彩った。サッカー部3年の富田俊くんは、いつも私たちの試合の際に応援メッセージをいただくと、全国の星槎の仲間を支えてもらっています。今回はその感謝をこめて、恩返しのもので応援しましたと話す。



メガホンを振り 試合を盛り上げるサッカー部

SEISA OLYMPIC NEWS
~ Road to Rio, Road to Tokyo ~
未来に向けて
スポーツを超えて



ブータン施設団 星槎箱根キャンパスにて

Road to Tokyo

リオオリンピックに本オリンピック委員会とENOCとの間でパートナーシップ協定を締結する予定となっている。

※本が手に入りにくい場合は、編集部までご相談ください。

Road to Rio

5月、将来を担うアスリートたちが記録会参加。エリトリアの17歳、27歳の男女13名、及びコーチ・役員2名が2020年事前キャンプの拠点となる星槎箱根キャンパスに5月12日〜16日まで滞在。第250回日本体育大学長距離競技会に参加した。結果はテクニカル・テューエルデブラム選手、アウエット・ハブデ選手、2名がオリンピック参加標準記録を突破。5名がアフリカ大会、3名が世界ジュニア大会への参加資格を得た。リオオリンピックの派遣選手は7月初旬に決定する。

「ペケレットの夏」
重なる。選抜された、たくましい体を持つ選手たちは、必死の力をこめて、世界の壁を破る漕法を完成させるために訪れた北海道で、選手たちはある少女たちと出会う。オリンピックの3ヶ月前、偶然の出会いが彼らに漕艇のリズムをもたらす。そのリズムによって招来された世界の壁を破る東の間の絶頂と、急速な衰退。そして、オリンピック本番での敗退。東京オリンピックまでの1年5ヶ月が、若い選手たちの肉体への賛美と共に、抒情的で、美しく描かれた作品。肉体への憎しみ、所収(筑摩文庫、玉木正一編)。

第1回
著者 無呂 亜明
ペケレットとは、札幌市にあるペケレット湖のこと。この小説には、東京オリンピック、ボート競技の日本代表の大学生と監督が描かれている。監督はローマオリンピックの雪辱を晴らすべく、20名の選手たちと練習を重ねる。選抜された、たくましい体を持つ選手たちは、必死の力をこめて、世界の壁を破る漕法を完成させるために訪れた北海道で、選手たちはある少女たちと出会う。オリンピックの3ヶ月前、偶然の出会いが彼らに漕艇のリズムをもたらす。そのリズムによって招来された世界の壁を破る東の間の絶頂と、急速な衰退。そして、オリンピック本番での敗退。東京オリンピックまでの1年5ヶ月が、若い選手たちの肉体への賛美と共に、抒情的で、美しく描かれた作品。肉体への憎しみ、所収(筑摩文庫、玉木正一編)。

スポーツは、もちろん実際にやってみて楽しむもの。でもその他に、見て、応援して楽しむことや、語り合う楽しみ方もあります。スポーツは読んで楽しむことができます。相手の作戦を読む、次の一球の球種を読む。そしてスポーツをテーマにした小説を読む。取り上げた小説に興味があれば読んでください。

セイスポ 私たちは

SEISAでつながる

星槎オリンピック スポーツ部門結果

◆バスケットボール 男女混合

1位 星槎高校
2位 湘南校
3位 福井、八王子
MVP 岩佐 圭祐(福井2年)

◆バスケットボール 女子

1位 八王子
2位 横浜鴨居
3位 北斗校、立川
MVP 知見 星亜(八王子3年)

◆ソフトバレー

1位 立川①
2位 立川②
3位 湘南校、浜松
MVP 木下 樹(立川2年)

◆ドッジボール

1位 厚木
2位 湘南校
3位 星槎高校、八王子
MVP 林 慎史(厚木3年)

◆卓球 男子

1位 小澤 綾斗(湘南校1年)
2位 天野 光(立川1年)
3位 駒木 脩人(北斗校2年)
山形 和也(厚木3年)

◆卓球 女子

1位 中島 萌(厚木3年)
2位 前田 真波(横浜ポート1年)
3位 霧生 なぎさ(湘南校2年)
3位 水野 有紗(立川専攻科1年)

◆スーパー MVP (大会 MVP)

平井 祐樹(星槎高校3年)

◆玉入れ

1位 厚木

◆大縄跳び

1位 八王子

◆ピンポン玉遠投

1位 高橋 零士(北斗校3年)

◆ルービックキューブ 1面

1位 加藤 正敏(厚木2年)

◆ルービックキューブ 6面

1位 鈴木 麻友(横浜ポート2年)

◆体内時計

1位 星槎高校

◆豆つかみ

1位 須田 紗南(八王子3年)

◆けん玉

1位 渡邊 頼規(星槎高校2年)

◆コップタワー

1位 渡邊 頼規(星槎高校2年)



バスケ男女混合優勝の星槎高校



ソフトバレー優勝の立川①



ドッジ優勝の厚木



卓球男子個人優勝
小澤くん



卓球女子優勝
中島さん



応援旗コンテスト
最優秀賞 八王子

出場校
星槎高校
星槎学園
湘南校、北斗校、大宮校、横浜ポートサイド校
星槎国際高校
名古屋学習センター、福井学習センター、浜松学習センター、横浜鴨居学習センター、立川学習センター、厚木学習センター、八王子学習センター
星槎甲府キャンパス、浦和高等学園、柏高等技術学園
横浜デザイン学院、BLEA 女子高等部

7月8日(金)、神奈川県
の川崎市とどろきアリー
ナで、星槎オリンピックス
ポーツ部門が開催された。
星槎オリンピックは第3
面に掲載したフットサル
の他、クリエイティブ部門
(芸術、歌・ダンス等のパ
フォーマンス)、料理部門、
伝統競技部門(百人一首
散らし取り、坊主めくり)、
駅伝部門等の様々な分野
で生徒が競う。今回は、関
東地区の高校部門各校を
中心に17校が参加。星槎
国際高等学校福井学習セ
ンター、名古屋学習セ
ンターは初参加。バスケット

ボール(男女混合・女子)、
ソフトバレー、ドッジボー
ル、卓球(男女個人)が主
な競技。来場者は応援生
徒、保護者、来賓を含め約
1600名。
星槎オリンピックは、普
段はそれぞれの地域で学
習する生徒が一同に会し、
交流する機会でもある。
星槎のそれぞれの校舎は、
星槎の理念を生徒の状況
にあわせて表現している。
その表現は違っても、ま
た、生徒それぞれの人柄
や考えは異なっている。私
たちが星槎の理念、星
槎という言葉で関わり

合っていることにつながっ
ていることをこの日、改
めて確認。さらに、生徒の
大切な成長の機会として
も企画されている。つま
り、スポーツを通して関
わり合うことで、生徒自
身が考え、仲間と話し合
う中で勝利を目指すこと
や、競技をするために多
くの人の支えられている
自分への気づきスタッフ
として参加し、他をサポ
ートする自分の役割を実
感するという星槎の共感
理解教育の実践の場でも
ある。生徒はそこで、仲間
と笑い、喜び、感動の涙を

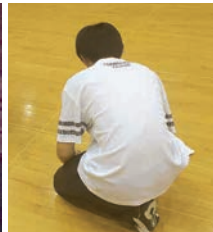
流す。
今大会では、上記種目
に加え、大縄跳び、玉入れ、
ピンポン玉遠投の他、1
面、6面それぞれをそろ
える時間を競うルービッ
クキューブ、時計を見ずに
20秒間を正確に計測する
体内時計選手権、30秒間
でお椀へ小豆を移し替え
る豆つかみ、30秒間で玉
が大豆にのった回数を競
うけん玉、10個のコップを
組み立てる秒数を競う
コップタワーといった競
技も実施した。大会を彩
る応援旗のコンテストも
ある。このようにまず自

星槎オリンピック とどろきアリーナで 熱戦

分のできる範囲、できる
部分で参加し、楽しみ、自
信をつけることでさらなる
積極性を引き出そうと
するの星槎流。
また、大会運営は教職
員の他、生徒がスタッフと
なり、イベントを支える
側のことを学ぶ。場内放
送を担当した山下莉紗さ
ん、鬼頭沙弥さん(ともに
立川2年)は、場内が盛り
上がっていると放送の声
が届かないので、上手に
合間を縫ってアナウンス
した。先輩から、大きな声
でアナウンスするようア
ドバスを受けた、と話す。
適確なアナウンスも生徒
の配慮と先輩からの継承
があつてのこと。また
受付を担当した秋山七海



場内アナウンスをする
山村優歌さん
(立川2年)



終了後、アルコールで
床を清掃

さん(横浜鴨居3年)は、
3年間受付を担当し、笑
顔で挨拶するよう心がけ
た。多くの方が笑顔で挨拶
を返してくれるので、
とても嬉しい、と話す。星
槎オリンピックの他、入
学式、卒業式や多くのイ
ベントで生徒スタッフが活
躍している。イベントに
来場される方は、是非、生
徒スタッフにも注目。



全日本学生陸上選手権で
3位に輝く滋野さん

男子陸上競技部 日本学生選手権3位に輝く!

2016 日本学生陸上競技個人選手権大会 (6/12 Shonan BMW スタジアム平塚)

3000m 障害 3位 滋野 聖也(経営学科2年)

第68回 北海道学生陸上競技対校選手権大会 (5/20 札幌厚別公園陸上競技場)

1500m 1位 滋野 聖也

5000m 1位 松舘 悠斗(経営学科1年)、3位 ジョン・ツォー(経営学科1年)

10000m 1位 ジョン・ツォー

第38回 北日本学生陸上競技対校選手権大会 (7/2 札幌厚別公園陸上競技場)

10000m 1位 原 由幸(経営学科3年)、2位 松舘 悠斗

硬式野球部

平成28年度 札幌学生野球連盟第1部リーグ(札幌6大学野球)春季リーグ戦

2位(8勝2敗)

個人賞 首位打者賞 石黒 凌(経営学科3年)、新人賞 生田目 忍(経営学科1年)

平成28年度 札幌学生野球連盟 第6回春季トーナメント戦

準優勝(東海大学 1-0 道都大学 7/2 東海大学グラウンド)

道都大学 スポーツ 報告

今年度より星槎グルー
プの一員となった道都大
学(北海道北広島市)は、
2012年は野球部から

ドラフト指名選手を2名
輩出するほど活動が盛
ん。今年度のこれまでの
主な活動実績を掲載。